



2023年9月25日

各 位

会 社 名 株式会社 オーテック
代表者名 代表取締役社長 市原 伸一
(コード：1736、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 安野 進
(TEL. 03-3699-0411)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社は、これまで事業の堅実性、財務健全性を意識した経営を進めてまいりましたが、昨年度よりスタートした第3次中期経営計画で掲げた「経営基盤の充実」、「事業基盤の成長」、「エンゲージメントの向上」の3つの基本方針、並びに、SDGsへの取り組みを含め、持続的成長とより一層の企業価値の向上に取り組んでおります。

そうした中、株価の指標であるPBRは、2023年3月期末で0.61倍、9月22日終値ベースにおいても0.77倍とPBRが1倍を下回っていることから、株価は割安で推移しているものと認識しております。

当社のPBRが低位に留まる理由としては、直近2年間についてはROEが8%を下回って推移していること、成長性に関して株主や投資家の理解を十分に得られていないこと、配当政策が抽象的であることなどが影響しているものと評価しています。

項 目 (連結)	単位	2019/03期	2020/03期	2021/03期	2022/03期	2023/03期	2025/03期 (予想)
売上高	千円	23,844,117	27,225,613	23,458,243	25,410,370	26,138,165	30,000,000
営業利益	千円	1,755,142	2,297,276	1,993,467	1,923,854	1,953,747	3,000,000
経常利益	千円	1,841,685	2,447,559	2,134,836	2,027,792	2,038,043	—
当期純利益	千円	1,164,526	1,620,276	1,326,390	1,349,816	1,246,207	—
営業利益率	%	7.4	8.4	8.5	7.6	7.5	10.0
ROE	%	8.5	11.0	8.3	7.9	7.0	8.0以上
PBR	倍	0.73	0.72	0.78	0.66	0.61	—
PER	倍	8.89	6.8	9.74	8.51	8.95	—
配当性向	%	29.3	27.5	31.7	33.1	35.6	—
1株当たり純資産額	円	2,687.40	2,928.80	3,143.85	3,327.75	3,530.29	—
期末株価	円	1,971	2,100	2,460	2,189	2,137	—
DOE	%	2.5	3.0	2.6	2.7	2.5	3.2

2. 改善に向けた方針

現状の評価を踏まえ、当社は、株主や投資家のみなさまから当社の成長性を適切に評価していただくことを基本的な方針とし、収益力の向上とROE8.0%以上の維持、重点分野への積極的投資や株主還元策の見直し等により、PBR1倍を上回る水準とすることを目標とします。

3. 改善に向けた具体的取り組み

1) 収益力の向上

現在進めている第3次中期経営計画の着実な実行により、収益力の向上やROEの改善を図ります。

2024年度には、売上高を2021年度比18.1%増の300億円、営業利益は同55.9%増となる30億円を目指しており、次期中期経営計画の策定を検討する中で、資本コストを上回る利益水準を目指し、付加価値の高いビジネスを展開することによる売上の拡大、DX推進等の業務効率化による生産性向上を図るため、下記の取り組みを行います。

- ① 建物のエネルギー高効率化に貢献できる自動制御システムの推進
- ② 省エネルギー提案の強化とソリューションビジネスの推進
- ③ 施工物件に対するメンテナンス契約割合の向上
- ④ グループ連携による事業領域の拡大
- ⑤ 放射（輻射）冷暖房システムの認知度向上と導入率向上
- ⑥ DXの推進による業務改革・業務効率化の実現
- ⑦ M&Aや資本・業務提携による事業拡大

2) 財務戦略・資本政策の強化

安定的な配当の継続を業績に応じて行うとした配当方針の見直しを図り、積極的な株主還元と成長投資を行ってまいります。また、既存資産の有効活用を図るとともに、最適なキャピタルアロケーションの実現を図るため、下記の取り組みを行います。

- ① 株主還元の強化（株主資本配当率DOE3.2%以上を目指す。）
- ② 既存資産の有効活用、営業拠点の効率的配置
- ③ 政策保有株式の見直し
- ④ M&Aや資本・業務提携の検討
- ⑤ 人的資本経営への取り組み（各種研修制度の充実、人材の確保、社内環境整備）

【キャピタルアロケーションイメージ】

キャッシュイン	キャッシュアウト
<ul style="list-style-type: none">・営業キャッシュフロー・有利子負債の活用	<ul style="list-style-type: none">・株主還元強化 株主資本配当率DOE3.2%以上・成長投資・既存資産有効活用 設備投資、DX投資、M&A、 人的資本投資

3) IR活動の充実

当社の取り組みについては、株主・投資家との対話の機会を増やすことで、当社の事業モデルや成長戦略を共有していただき、適切な企業価値の評価と、PBRの改善につなげてまいります。

- ① コーポレートサイトによる財務情報、非財務情報の情報発信の充実
- ② 決算説明会の内容充実（決算説明会資料の見直し、個人投資家向け会社説明会の実施）
- ③ 長期ビジョンの策定による成長戦略の提示

以 上